

本会議(2月16日)・予算特別委員会(3月2日~28日)で質疑しました

おもて面で紹介したものと、以下のテーマで質疑を行いました。

## コロナ対策

### 「自宅放置」避けよ



本会議(2月16日)

3月15日時点の自宅療養者は県内で5万3,924人、今年に入って11人が自宅療養中に亡くなる極めて深刻な事態です。

2月16日の本会議で私は、感染小波期にこそ検査、入院・宿泊療養所、保健所の体制強化をと再三、県に求めましたが抜本拡充されず、今の事態に至ったと指摘。感染者を「自宅放置」させないために、

▽陽性者には少なくとも感染判定の翌日に連絡できるよう保健所体制構築を

▽保健所代行とされる自宅療養者等相談支援センターの回線を大幅に増やし、陽性者に積極的に連絡を取って、必要な支援を——と強く求めました。

齋藤知事は「県職員の応援など保健所強化に取り組んできた。引き続き、保健所や医療機関と連携して対応していく」と言うだけで、具体的な現状打開策は示しませんでした。

### 施設の高齢者を守れ

第6波の兵庫県の死者は3月7日時点で489人。人口10万人当たり死者数は2月26日時点で、大阪府、奈良県に次ぐワースト3位です。

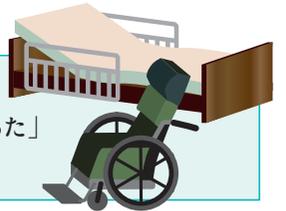
死亡者の8割が80歳以上。第6波の高齢者等施設のクラスターによる感染は3月15日時点で4,939人。

大阪府も高齢者等施設のクラスターが多発し、「早期に医療介入が行われず重症化、或いは亡くなる悪循環」と分析されています。私は「兵庫県も同じでは」と指摘し、「入院が叶わず施設で亡くなった方の人数など実態を公表せよ」と要求しましたが、県は「まん延防止に関係ない」と拒否しました。

重症化・感染リスクが高い高齢者等施設では、ワクチン3回目接種を前提に、▽感染を広げず早めの医療保障のため入所者は優先的に入院▽やむをえず施設療養の場合も中和抗体薬の早期投与などで重症化防止▽定期的PCR検査、抗原検査キット配布——などを要求しました。

#### 東灘区内の高齢者施設から寄せられた声

「酸素飽和度が80%を切っても入院させてもらえなかった」「苦しんで目の前で亡くなるのは耐えられない」



## 教育の充実、学生・若者支援



### 中学校で35人学級 神戸市も実施を!

2022年度から県内の中学校(神戸市除く)が、1~3年のいずれか1学年で35人学級編成を選択できるようになりました。共産党県議団が長年求めてきた少人数学級が一步前進です。しかし、神戸市はこの方式は導入しません。県内で神戸市とそれ以外の自治体で学級規模が違うなど、あってはなりません。教育格差を生むものです。

県教育委員会に対し、「権限の問題ではなく、県内の教育に責任を持つ立場から、少なくとも県と同じく中学校で35人学級を始めるよう神戸市に促すべきだ」と強く要求しました。

### 大学生支援



大学学費は高騰を続け、現在、年間の学費は国立大学で平均約54万円、私立大学では平均約93万円。その上、他の先進国にはない入学金があり、とても重い負担になっています。

2020年からの国の「高等教育修学支援新制度」や

コロナ禍で家計・バイト収入減の学生への「緊急給付金」(10万円)は、非課税世帯など対象者が限られており、例えば甲南大学の利用者は全学生のわずか11.7%です。

県も支援すべきと求めたのに対し、県は「財源が厳しく難しい」と答弁。

私は「齋藤知事は知事選で大学生支援を公約していた」と述べ、宝塚市や朝来市の支援策も示し、**給付制奨学金、家賃補助など県独自の支援**を求めました。



予算特別委員会(3月8日)

### 奨学金返済支援

2016年度に全国で初めて実施された、県内中小企業に就職した若者の**奨学金返済を支援(上限年6万円)する制度の拡充—支援額増額、税の優遇等で導入企業拡大—**を求めました。

私は、人材確保に苦勞する中小企業にも、奨学金返済に苦勞する若者にも有効な施策だと評価した上で、「奨学金返済は本当に厳しい。(後発の)京都は上限年9万円。制度拡充を」と要望しました。

現在181社 516人が利用



### 包括的性教育



コロナ禍でDVや性暴力が増え、中高生からは望まない妊娠相談が急増していると報じられています。背景には、日本の性教育の遅れと歪んだ情報の氾らん、ジェンダー不平等の問題が横たわっています。

性暴力・性犯罪の被害者も加害者も生まないために、**互いの性を尊重する人間関係を築くための科学的な「包括的性教育」を導入すること、それに向けて**

**研究会の立ち上げ**を県教育委員会に提起しました。

県教委は「児童・生徒が性に関して正しく理解し、適切な行動がとれるよう指導の充実に努める」と答弁。

私は性犯罪・性暴力の被害者支援をしてこられた方々が「包括的性教育」の必要性を再三指摘していること、取り組み次第で人権尊重の大きな可能性が広がることを述べ、重ねて「包括的性教育」の導入を要望しました。

**包括的性教育**: ユネスコ(国連教育科学文化機関)が、WHO(世界保健機関)などと協力し、2009年にまとめた「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」(2018年に改訂)で提唱されました。科学的な根拠に基づき、人権・ジェンダー平等の視点に立って、子ども・若者の発達・年齢に適した知識、態度、スキル(技能)の獲得を可能にする教育内容が示されたものです。

### 高校タブレットは公費で



2022年度から始まるプログラミングなどを学ぶ授業「情報I」で使うタブレットを兵庫県は自費購入としています。

一方、24府県は国の交付金を使って公費で購入し、無償貸与にしています。「学校の授業に必要なものである以上、**兵庫県も公費で負担して無償貸与にすべきだ**」と訴えました。

### 阪神住吉駅

#### バリアフリー化を



阪神住吉駅へのエレベーター設置は地元の方々の切実な願いで、私はこれまでも議会で取り上げてきました。阪神本線33駅の中で唯一バリアフリー化されていない駅です。

▽**神戸市にバリアフリー化する駅と位置づ**

**けることを要請▽阪神電車に強く働きかけること▽国での事業採択——**を強く求めました。

県は「阪神住吉駅は支援の対象。神戸市と一緒に国に働きかけていきたい」と前向きな答弁をしました。